

令和2年度 能美市社会福祉協議会事業計画の概要

【主な実施事業】 注：(新)は新規事業、(改)は改定する事業、(充)は充実する事業

【基本方針】

【推進項目】

推進項目 1.
【住民参加・住民主体で地域福祉を推進する社会福祉法人の運営】

基本方針 1

住民参加・住民主体の福祉のまちづくりを推進します。

推進項目 2.
社会福祉関係者が一丸となった地域福祉活動への支援

推進項目 3.
福祉意識の醸成のための福祉教育の推進と住民の互助活動の支援

基本方針 2

住民一人ひとりの普段の生活の安心・安全を支援します。

推進項目 4.
生活上の多様な問題の相談窓口の開設

推進項目 5.
居宅介護支援事業所の運営及び生活支援サービスの提供

推進項目 6.
老人福祉センターの管理運営

- (1) 理事会、評議員会、各種委員会の開催
 - ①理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催（先遣地視察の開催 9月上旬）
 - ②能美市地域福祉活動計画の推進にかかる委員会（(新)生活応援委員会含む）の開催
 - ③ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会の開催
 - ④ファミリー・サポート・センター運営委員会の開催
 - ⑤社会福祉功労者等表彰審査会の開催
- (2) 会員会費の募集
 - 4月から12月まで会員会費を募集。特に7月を募集推進月間として取り組む
- (3) 社会福祉大会の開催
 - 第16回能美市社会福祉大会を開催（第13回能美市民ボランティアフェスティバルと同日同会場 8月2日（日）根上総合文化会館）
 - 社会福祉功労者等表彰の授与を通じて、福祉意識の醸成に取り組む
- (4) 春 まち ぽかぽかプロジェクトの開催（2月下旬～3月上旬）
 - ①第3次能美市地域福祉活動計画の進捗状況の報告
 - ②住民の地域福祉・ボランティア活動の紹介、報告
 - ③車いすを市内福祉施設等に贈呈（集まったプラタブを換金）
 - ④「能美たすけあい～大賞」及び「能美ぽかぽかフォトコンテスト」(新)「福祉の魅力発信」(のみ社会福祉法人連絡会との協力) 募集と表彰
- (5) 福祉、ボランティア情報の発信
 - ①広報誌「ほほえみ」の発行（年4回）
 - ②地域福祉・ボランティア活動報告集の発行（年1回）
 - ③(充) ホームページの充実
 - ④(新) 能美市社会福祉協議会誕生15周年記念とし、地域福祉推進のマスコット「のみんなちゃん」をリニューアル
 - ⑤(新) 福祉人材バンク（社会福祉事業における地域福祉・ボランティア活動の実践者、賛同者及び寄付者等の名簿の整理・管理）の立ち上げ
- (6) 愛の福祉基金事業の運営
- (7) (新) BCP（災害時に備える社会福祉協議会における福祉の事業継続計画）の策定

- (1) 福祉関係者が行う地域福祉活動への支援
 - ＜地域福祉委員会＞
 - ①地域福祉委員会活動ヒント探し講座「入門編」（7月頃から全4回）・「実践編」（9月頃から全3回）・「活動推進会議」（時期未定）の開催
 - ②地域福祉委員会活動連絡会の開催（6月頃）
 - ③地域福祉委員会の各種活動に対する助成
 - ④いきいきサロン運営ボランティアの活動支援（研修会開催と交流会開催等）
 - ⑤福祉推進員活動支援
 - ⑥地区担当制によるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置
 - ＜民生委員児童委員協議会＞
 - ①市及び3地区単位民生協の事務局を担当し、活動を支援
 - ＜福祉団体、福祉活動グループ＞
 - ①福祉団体の事務局を担当し、活動を支援
 - ②地域福祉活動を推進するグループや団体の活動支援
 - ＜(新)のみ社会福祉法人連絡会＞
 - ①地域福祉の推進を目的に、市内8社会福祉法人の情報交換や連携を深める機会として、設立された連絡会の事務局を担当する（設立総会と開演会 7月9日（木）辰口福祉会館）
- (2) 生活支援体制の基盤整備の推進（生活支援コーディネーターの配置）
 - ①1層（市全域）に配置された生活支援コーディネーター（1名）は、生活支援の活動をすすめるグループや団体等のネットワークづくり、情報収集、意識の啓発、広報活動を行う。
 - ②2層（中学校区単位）に配置された生活支援コーディネーター（市社協に3名と3地区あんしん相談センターに3名 計6名）は地域における生活支援のニーズを把握し、コーディネーター連絡会を開催しながら、生活支援にかかる課題や情報を共有する。
 - ③1層と2層の生活支援コーディネーターは連携し、地域福祉委員会（1つの町会・町内会、または2つ以上の町会・町内会を単位とする）、企業、事業所、社会福祉法人等による生活支援活動をコーディネートし、その組織化を支援する。
 - ④たすけあいライフ・サポーター活動支援講座（連絡会含む）を開催する。（9月頃）
- (3) ふれあいの場や介護予防の場づくりの推進
 - ①親子サロン（親子がふれあい集う場づくりとママ友相談）の開催
 - ②ほっとあんしんサロン（介護者が日頃の介護に関する悩み・不安を語り合う場づくりと介護者同士の経験を活かした悩み相談）の開催
 - ③福耳ネット、ぬくもりサロン（聴覚、視覚等コミュニケーションに下部合な方がふれあい集う場）の開催
 - ④ふれあい福祉交流会（レクリエーションを通じ、障がいや認知症の有無にかかわらず、ふれあい、交流をする場づくり）の開催（6月28日（日）根上総合文化会館 実行委員会形式）
 - ⑤福祉バス等の貸出（福祉団体やいきいきサロン（おでかけサロン）等の外出支援）
 - ⑥(新) 市内3カ所の通所施設で、9月に行う介護予防普及啓発キャンペーンの一環として、健康長寿に向けた介護予防の取り組み（笑ってふれあい）を行う。
- (4) 見守りネットワークや生活支援活動の推進
 - ①歳末お見舞金の贈呈（要件有）
 - ②手づくりお弁当の提供（市内3会場にて調理（ふれあい弁当（歳末時にはおせち風弁当）、子育て応援弁当、学習応援弁当）
 - ③視覚障害のある方への広報「のみ」等の音訳テープの提供
 - ④一人暮らし高齢者等への傾聴ボランティアの派遣
 - ⑤子育て応援ヘルパーの派遣

- (1) ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営
 - ①ボランティアに関する相談窓口（登録・斡旋・保険加入・ボランティア機材貸出・プラタブ、古切手、ベルマーク等収集の受付）
 - ②ボランティア講座開催（(新)福祉施設・事業所のボランティア担当者研修会（のみ社会福祉法人連絡会との連携））
 - ③ボランティア保険加入助成
 - ④ボランティアグループ及びコミュニティ活動団体への助成（区分・要件有）
 - ⑤市ボランティア連絡協議会活動助成と活動支援（情報誌「ボラ・はあと」の発行（年2回）含む）
 - ⑥福祉協力校活動助成（市内8小学校、3中学校、1高等学校が対象）
 - ⑦ボランティアセンターだより（年4回福祉協報誌ほほえみに合わせて発行）及び(新)ホームページでのボランティア情報の発信強化
 - ⑧プラタブの収集と換金及び車いすを購入し市内福祉施設等に贈呈
 - ⑨災害ボランティアセンター体制整備及び立ち上げ運営訓練の実施（11月中旬から下旬 会場未定）
 - ⑩第13回能美市民ボランティアフェスティバル開催（8月2日（日）根上総合文化会館 実行委員会形式）
 - ⑪情報交換、交流の場として喫茶「あい・テラス」開催（年1回ふれあいプラザ）
- (2) ファミリー・サポート・センターの運営
 - ①協力会員・依頼会員等会員による助け合いの互助組織の運営（会員の募集、登録・斡旋（マッチング）、保険加入）
 - ②研修会（子育て応援ヘルパー養成講座含む）及び会員交流会の開催
 - ③ファミサポだよりの発行（年1回）

- (1) 寺井あんしん相談センターの運営（寺井地区対象）
- (2) 暮らしサポートセンターのみ（市全域対象）
 - ①生活困窮者自立相談支援事業（(新)生活困窮者への食糧の配付 フードバンク、フードドライブ等を行う団体等と連携し、必要な方に食料を届け、自立生活に向けた支援をする。）
 - ②福祉サービス利用援助事業
 - ③生活福祉資金等貸付事業
 - ④弁護士・行政書士の無料専門相談等事業（(新)弁護士相談を月3回に）
 - ⑤心配ごと相談所の運営
 - ⑥(新) 成年後見制度利用促進事業における中核機関（成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、権利擁護支援の地域連携ネットワークを進める機関）受託への準備

- (1) 能美市社会福祉協議会能美居宅介護支援事業所の運営（介護支援専門員3名体制で特定事業所加算（Ⅲ）を算定する。）
- (2) 福祉移送サービス事業の運営
- (3) 生活支援たすけあい・ライフサポーター（介護予防・日常生活支援サービスのうち訪問型サービスB（住民主体による援助））の派遣
- (1) 老人福祉センター白寿会館（大浜町35-1）の管理運営
- (2) 寺井老人福祉センター亀齢荘（湯谷町25）の管理運営